

一般質問通告一覧表

令和3年12月7日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
1	西村良一	30分	要望・苦情への対応について 市には多くの要望、苦情等が寄せられていると思うが、その対応は誰がどのように指示を行い実行されているのか尋ねる。	市長 部課長	9:30
2	中平裕二	40分	長門市水産業振興計画の進捗状況及び今後の展開について 本市の水産業は、担い手不足、経費の高騰、自然環境の悪化に加え、新型コロナウイルス感染症の全国的なまん延による売価の低迷などにより大打撃を受けている状況にある。 長門市水産業振興計画は、水産業の振興に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため平成30年度に策定されたが、計画策定から約3年が経過した現在の進捗状況と今後の展開について尋ねる。	市長 部課長	10:10
3	ひさなが 信也	50分	市が管理する公園の役割について 市が管理している市内の公園については、第2次長門市総合計画にもあるように劣化が顕著になってきている。 公園とは一般的にコミュニティの場であり、人々の心を和ます場所と同時に、災害時にあつては避難場所となるなど、人々の生活の中でかけがえのない重要な施設であると考え、市長が考える公園の果たすべき役割及び必要性について問う。	市長 部課長	11:00
4	米弥又由	30分	孤立する高齢者への支援について コロナ禍で、社会的孤立や生活困窮に陥る人が増加し、深刻な問題となっている。 近年、一人暮らしの高齢者が誰にも看取られずに死亡していくケースがマスコミ等に取り上げられ、高齢者の孤立死に対する社会的な関心も高まっている。 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2040年には高齢化率が35.3%に達するとされ、三世帯世帯は減少し高齢者単独世帯は全体の40%に増加することが見込まれ、高齢者の社会的孤立が生じやすい環境となっている。そこで、現在本市における高齢者単独世帯の現状と課題について問う。	市長 部課長	13:00
5	岩藤睦子	50分	天井山風力発電事業（仮称）について ジャパン・リニューアブル・エナジー（株）が計画する天井山風力発電事業（仮称）について、これまで、市長は「メリット、デメリットがあり十分検討した上で方向性、考え方は示していかなければいけない」と答弁されているが、方向性や考え方はいつ頃示される考えか伺う。	市長 部課長	13:40
			芸術・文化施設の管理運営について 令和2年4月から、金子みすゞ記念館、香月泰男美術館、くじら資料館及び村田清風記念館の4館は観光政策課に移管され、令和3年4月から、くじら資料館、村田清風記念館は指定管理者である公益財団法人長門市文化振興財団により管理運営が行われている。 当該施設に展示されている文化財、所蔵作品等の保存・伝承については、文化財行政を所管する教育委員会との連携が不可欠であると思われるが見解を伺う。	市長 教育長 部課長	

一般質問通告一覧表

令和3年12月7日（火）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
6	重廣正美	30分	都市計画税について 現在、公共料金の上下水道料金の見直しが検討されている。 新規都市計画事業が予定されていない中、都市計画税の必要性をどう検討されているか。廃止を含めた市長の見解を伺う。	市長	14:40
7	江原健二	30分	道路や橋梁の整備・維持管理の現状と今後の対応について 今日、車社会の到来と同時に整備された道路や橋梁の多くが50年以上経過し、老朽化が進むとともに、横断歩道や停止線、中央線、路側帯などの白線が薄れ、見えかかっている道路が多く見られ、交通安全の面からも危険性が指摘されている。 市長が基本理念に掲げる「市民のいのちと生活を守る」まちづくりを推進するうえで、道路や橋梁の老朽化対策及び維持管理は重要な課題の一つであると認識しているが、現状と今後の対応について尋ねる。	市長 部課長	15:20

令和3年12月8日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
8	林哲也	70分	救急搬送体制の強化について 高齢者数の増加により医療・介護ニーズが高まっており、地域医療や救急医療体制の確立が求められている。しかし、医師数が減少傾向にあり、今後の救急医療の体制・運営が不安視されている。救急搬送体制の強化など、安全・安心に暮らしていくための取り組みを問う。	市長 消防長 部長	9:30
			再生可能エネルギーの活用可能性について 東日本大震災をきっかけに、原子力発電や化石燃料に依存しない太陽光などの再生可能エネルギーの活用と省エネルギーの取り組みが求められているが、メガソーラーや大型風力発電のための乱開発は森林破壊や土砂崩れ、住環境の悪化や健康被害の危険を広げており、再生可能エネルギー普及の大きな障害になっている。第2次長門市総合計画には「バイオマス、小水力、廃食用油等の再生可能エネルギーの活用可能性について研究する」とあるが、地産地消の再生可能エネルギーの取り組みを問う。	市長 部長	
9	重村法弘	70分	上・下水道事業の今後について 私たちが日常生活を送るうえで必要不可欠な水の供給、また生活により発生した汚水の処理については、地方自治体が将来にわたり責任を持って行わなければならない極めて重要な住民サービスである。 近年の人口減少や昭和の時代に埋設された管路更新の費用など、様々な要因から上下水道事業会計の健全化が進められようとしているが、中山間地域を抱え、人口密度が低い小規模自治体における水道、下水道事業のあり方について市長の見解を尋ねる。	市長 上下水道 局長 課長	10:50

一般質問通告一覧表

令和3年12月8日（水）

	氏名	通告時間	件名（要旨）	答弁者	予定時刻
10	田村大治郎	50分	小中学校における「置き勉」の対応について 平成30年9月6日文科科学省は、「児童生徒の携行品に係る配慮について」という事務連絡を発出し、宿題で使わない教科書などを学校に置いて帰ることを認めるよう都道府県教育委員会などに通知した。小中学校においては、児童生徒の携行品の重さや量への配慮について従来から様々な取組を行っていただいております。この事務連絡によりいわゆる「置き勉」が認められることで、重すぎるカバンを背負ってきた子どもたちの負担軽減が期待されたが、その後、ランドセル・カバン及びその他の荷物の量に変化が見られないように思われる。 「置き勉」に対する教育委員会の見解と小中学校の現状、今後の対応について尋ねる。	教育長 部課長	13:00
			いのちを守る、通学路の安全対策への取組について 令和3年10月15日公益社団法人日本PTA全国協議会は、令和3年6月28日に千葉県八街市において発生した下校途中の児童が死傷した事故を受けて「子どもたちの登下校時の安全に関する緊急要望書」を文科科学大臣宛てに提出している。 本市においても通学路の危険箇所は存在し、大切な子どもたちがいつか交通事故の当事者になるかもしれないという不安が保護者につきまとう。 本市では現在、登下校時の子どもの安全確保や見守りを学校・地域と協力して取り組まれているが、通学路における危険箇所の現状認識と安全確保に向けた今後の取組について尋ねる。	市長 教育長 部課長	
11	綾城美佳	50分	地域福祉の充実について 第3次長門市地域福祉計画では、地域全体で支え合う体制づくりとして、地域活動活性化のための社会福祉協議会の機能強化が示されている。また、平成12年の社会福祉法の改正において、地域福祉の推進が社会福祉の理念として規定されるとともに、社会福祉協議会が地域福祉の推進を担う中核的な団体として明確に位置付けられ、大きな役割を担うことが期待されている。 本市の地域福祉の充実に対する考え方及び市と社会福祉協議会との連携について、市長の見解を問う。	市長 部課長	14:00
12	松岡秀樹	40分	油谷地区小さな拠点づくり推進事業について 油谷地区小さな拠点づくり基本計画検討委員会において、行政施設（油谷支所、西消防署）の整備・配置について協議が行われているが、地元の一部自治会からは油谷支所の移転等に反対する声もあがっている。 施設の整備や配置について、これまでの協議の経過や事業の進捗状況、また市民の声に対する市の対応姿勢について伺う。	市長 部課長	15:00
13	上田啓二	40分	未来農業創造事業の推進について 農林水産省は本年5月「みどりの食料システム戦略」を策定した。市は同月、スマート農業の推進や担い手の育成等の諸課題解決に向けて「長門市未来農業創造協議会」を設立したが、この協議会の目指すべき方向性と、有機農業の今後について見解を伺う。	市長 教育長 部課長	15:50